
神からの贈り物。【イナイレ】

月影 凍月（更新亀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神からの贈り物。【イナイレ】

【Zコード】

Z3434M

【作者名】

月影 凍月（更新亀

【あらすじ】

初めてまして、僕は月影 凍月といいます。

たまに俺口調になる奴です。でもれつきとした です。

僕はイナイレやVOCALOID、APH等に興味があります...

今回は、その中からイナイレの夢小説を書いて見たいと思います。

これはありがちなネタなので、既に執筆されている方が居るかもし
れませんが…
あらかじめ「了承下さい」。

それから、これは小6クオリティの駄文ですのと、
読む時にそれを心の中に置いて下さい。

では、いよいよついでに…

ネタバレ章（前書き）

本当に思いつきりネタバレ！
マジで注意！

ネタバレ章

主人公：佐久間

くくく帝国で唯一のマネに思いを寄せる。

：が、帝国に新しく転校生が来て、帝国マネの場を奪つてしまつた。

彼女は、仕草や行動がとても可愛らしい為、帝国学園の中で彼女を好かない人は居ない。

だから、かつてチームメイトだった筈の仲間までが異常な行動を見せる。

それに佐久間は腹を立て、チームメイトを嫌つた。

佐久間がとても尊敬していた鬼道までも、だ。

実は、彼女は氣まぐれな神の手によつてここに来ていたのだ。

ある日、佐久間は退部届けを手に取つた。

勿論、あの大切なマネージャーと一緒に辞めよつと思つていた。

しかし、マネージャーは。

「皆がこうなつてしまつたのは私のせい。

だから、私が皆を元に戻してあげないといけないの。」

と、それだけ言つとまたマネージャーの仕事を始めてしまつた。

（勿論、もう一人のマネは仕事などしていない。

だから、皆がサボるようになつてマネージャーの仕事は大幅に減つた。）

佐久間は、そんな優しいマネージャーを見て、
（何で皆は解ってくれないんだ）
と心中で呟いて退部届けを握りつぶした。

（どうしてだよ 何で 解つてくれねえんだよ！）

帝国で唯一のマネ・夫音 星羅

＜＜＜帝国の皆が大好き。

皆が一生懸命練習している姿が好きで、

一 ジヤー になつた。

が、懸念に初め非常にマイナーシャーが出来た事にとても驚いていた

彼女の優しさなどの気持ちを認めて、しだいに受け入れていつてくれた。

しかし、そこに例の彼女（ ）が来て居場所を盗られてしまつ。

皆が異常な行動をするのを見て、

(いやな)でしあいたのは私のせい

だから、私が壁を戻してあけないと困るの。
（

事を続けた。

ある日、サッカー部に総帥が来て。

「帝国のマネージャーは1人で十分だ、もう1人など必要ない。」

「…と…冷たく言い放った。

（どうして 皆は 変わってしまったの ？ ）

転校生・安藤 杏香

くくくとある村の、貧しい農民の1人娘。

ある日、気まぐれな神によつて帝国学園へと転校する事になった。

彼女は、それがとても嬉しくて…帝国学園のサッカー部へとマネージャーとして入部する事にした。

でも、そこにはもう既に1人マネージャーがいて…

その場所に、入りたくなった。

そして彼女は入部した。

…しかし、彼女の入部理由はもう一つあった。

（佐久間君の隣に居たいから。）

彼女は、佐久間に一目惚れをしていた。

皆、1人目のマネを迎える時よりも歓迎していた。
ただ、1人を除いて。

佐久間次郎、彼に祝つて欲しかったのに。
彼に歓迎して欲しかったのに。

彼は、あのマネージャーの元へ行っていた。

それを見た瞬間、彼女の中には今まで無かつた感情が生まれた。

許せない、あの娘。

居場所を奪つてやる！

とても可愛い彼女にとって、それはとても容易い事だった。

「帝国のマネージャーは一人で十分だ、もう一人など必要ない。

(ほらね 私には 手に入らないものなど 無いのよ !)

死神：月影凍月

凍月

死神。清版トニの清版が無い。

ある日、帝国学園サッカー部に総帥が向かつたのを見て。

あることに気がついた。

（ 許せない 総帥まで 何で 皆は 解つてくれねえんだよ ! ）

「あの子……素晴らしい僧悪ねー。」

彼女は口角をあげて、地上へと、降り立つた。

(さあ、もつと憎みなさい！
憎んで怨んで妬めば全では終わるのよ！)

- - - - -

死神が信頼する神：亞風炉 照美

アフロディと呼ばれる、元世宇子中のキャプテン。今は、たまに学校に帰る程度で凍月と一緒に居る。

凍月とは仲が良く、いつも一緒に過ごしている。

ある日、凍月が地上へ行くのを見つけて、
(彼女が地上へ行くなんて…何かあったのだろうか。)

ヒ、疑問を懷いたので跡を着ける事にした。

(彼女が降りるなんてね 、 滅多に無いから 。)

序章

2010年、あるところに帝国学園といつも高い学園がありました。
と、言つても近くにある”学園”と呼ばれる建物を指しただけで
も、数百万は存在する。

即ち、その存在は無限大である

世界は、天界と呼ばれる神聖な場所で神々達によつて管理されてい
ました。

しかし、天界の頂点に立つ偉大なる神は、とても気まぐれでした。

その神が、ある時帝国学園を見ていて思いついたのです。
(もし、ここに可愛い少女を連れてきたら、
周りの者にはどの様な変化が起きるのだろうか。)
と

そして、神は世界のあらゆる所を探しました。
すると、ある所にとても可愛らしい農民の貧しい女の子を見つけま
した。

(ゆし、この娘を連れて行こう。)

そして、神様は気まぐれで学園を選び、
気まぐれで人を選び、

『仮あぐれで、帝國漆園へと送り込みました

全ては、この氣まぐれから始まって。

この氣まぐれが、大切なものを壊して。

そして

とある少年の、苦しみくとやしたのです。

～（適切ある）ありあり～！～

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3434m/>

神からの贈り物。【イナイレ】

2010年10月9日12時01分発行